

令和元年度上半期の業務状況

1 事業の概況

上半期における業務量は、次のとおりである。

(1) 用水供給の状況

区 分	業務予定量	上期業務量	上期業務量／予定量
年間供給水量	9,021,000m ³	3,942,325m ³	43.7%
一日平均供給水量	24,648m ³	21,543m ³	87.4%

(2) 建設事業の状況

令和元年度は上半期において、送水管布設予定箇所の実測、実施設計及び土質調査並びに当別浄水場の実施設計及び土質調査の委託等を実施した。

2 経理の状況

上半期における経理の状況は、次のとおりである。

(1) 収益的収入及び支出

区 分	予 算 額	上期執行額	執行率
用水供給事業収益	1,913,163千円	475,992千円	24.9%
用水供給事業費用	2,021,917千円	288,940千円	14.3%

(2) 資本的収入及び支出

区 分	予 算 額	上期執行額	執行率
資 本 的 収 入	39,410千円	0千円	0.0%
資 本 的 支 出	989,117千円	432,966千円	43.8%

[備 考]

一時借入金残高 0 円 (令和元年9月30日現在)

企業債未償還残高 14,779,023,855 円 (令和元年9月30日現在)

I 平成30年度石狩西部広域水道企業団水道用水供給事業決算の概要

本年度の水道用水供給事業は、用水供給開始6年次目として、安全で安心な水を安定的に供給するため、現有施設の適切な維持管理等を実施するとともに、第2期創設事業の2年次目として、浄水場及び札幌ポンプ場・分水施設の基本設計等の委託を行った。

なお、平成30年度決算の概要は、以下のとおりである。

1 予算の執行

(1) 収益的収入及び支出

収入では、

予 算 額 円	決 算 額 円	予算額に対する増減△ 円	執 行 率 %
1,904,387,000	1,901,262,046	△ 3,124,954	99.8

支出では、

予 算 額 円	決 算 額 円	不 用 額 円	執 行 率 %
2,031,101,000	1,919,732,613	111,368,387	94.5

となり、収益的収入支出差引において、予定不足額126,714,000円に対し、決算では18,470,567円の不足で、差引108,243,433円の好転となった。

(2) 資本的収入及び支出

収入では、

予 算 額 円	決 算 額 円	予算額に対する増減△ 円	執 行 率 %
0	0	0	—

支出では、

予 算 額 円	決 算 額 円	不 用 額 円	執 行 率 %
870,277,000	846,189,944	24,087,056	97.2

となった。

2 建設改良事業の概況

建設改良費の総額は、54,176,707円で、この内容は、

創設事業費 42,961,987円

固定資産取得費 11,214,720円

となった。

3 業務の概況

供給水量等については、

区 分	業 務 量
年間基本（有収）水量	9,016,595 m ³
年間供給水量	7,710,624
1日最大供給水量	23,846
1日平均供給水量	21,125

となった。